

すだちだより



令和5年12月1日 第314号

発行 徳島市教育研究所 徳島市幸町2丁目5番地 Tel621-5432

すだち学級 Tel623-5150 E-mail:sudachi@tgn.tcn.ne.jp

すだち祭を振り返って

11月4日(土)に、「すだち祭」を開催しました。これまでのコロナ禍による人数制限をなくし、通級生の保護者の方や在籍校の先生方、関係者の皆様など、たくさんの方に御来場いただき、通級生が一生懸命に活動している様子を見ていただく貴重な機会となりました。

多くの方から心温まるメッセージをいただき、通級生にとって大きな自信となりました。今回のすだち祭を通して一人一人が得たものを今後の生活に生かし、さらなる成長につなげていきたいと思えます。

受付

受付では、来場者へのあいさつ、プログラム・アンケートの配付、スリッパの整理整頓、アナウンス等を行いました。また、来場者が帰る際のアンケート回収の呼びかけ等も行いました。どの場面でも、機転を利かせて自分から関わっていくことができました。



販売

販売の部では、すだち祭のイメージキャラクターのオリジナルグッズや手作りコースターを販売しました。グッズの説明をはじめ、申込書への記入をサポートしたり、申込書のコピーや会計を行ったりするなど、さまざまな役割がありました。リハーサルで練習したことを生かしながら自分で考えて行動し、臨機応変に心の込もった対応ができました。



喫茶

喫茶の部は4年ぶりの開催でした。ポスターや手作りコースター作製等の準備からスタートしました。当日まで、「大丈夫かな」「不安でドキドキする」などの声も聞かれましたが、本番はたくさんの来場者を前に、堂々と心を込めたおもてなしをすることができました。来場者に手作りコースターのプレゼントを喜んでいただいたり、温かいお言葉をかけていただいたりして、通級生は嬉しそうな表情を見せていました。



展示

展示の部では、栽培・家庭科・美術・書道の各実習の時間に取り組んだ作品(寄せ植え・コースター・写生・スノードーム・習字)を中心に展示しました。展示係は、見に来てくださった方に、作品の紹介や活動写真について説明を行いました。緊張でいっぱいだったと思いますが、事前練習の成果を発揮し、堂々と説明することができました。



表現

表現の部では、動画部門とライブ部門を融合して実施し、鑑賞してくださった方々から大きな拍手をいただきました。緊張や不安でいっぱいだったと思いますが、発表後の通級生の表情は安堵や達成感で輝いていました。温かい会場の雰囲気を作りだしてくださった皆様に感謝しています。ありがとうございました。



12月の行事予定

1日(金) アディ・タイム(英語活動)
6日(水) ふれあいスポーツ(河川敷)
8日(金) 音楽実習(ドラム体験)
13日(水) ふれあいスポーツ(体育館)

15日(金) アディ・タイム(英語活動)
19日(火) すだちタイム(食育)
21日(木) すだち学級終業式

※1月10日(水) すだち学級始業式



栽培実習

10月27日(金)に、フラワーデザイナーの岡田 直佳さんを講師にお招きして、寄せ植え体験をしました。さまざまな種類のポット苗(ビオラ・シクラメン・パンジー・アリッサム・ハツユキカズラ等)の中から、自分の好きな苗を3つ選んで配置を考え、丁寧に植えていきました。

最後に、出来上がった寄せ植えにぴったりのタイトルをつけて、カードに書き込み完成させました。一人一人の個性がよく出ている素敵な寄せ植えが仕上がり、通級生たちも満足そうな表情をしていました。



第3回とまり木の会 御案内

第3回「とまり木の会」を開催します。「とまり木の会」は、学校へ行きづらくなっているお子さんの支援について、共に考え学び合う会です。専門の先生の意見を聞いたり、参会者と悩みを共有したりして、力を抜いて語り合うことができる会です。何かのヒントや安らぎを得て、少しでも心のエネルギーを充電してみませんか。是非、お気軽に御参加ください。

なお、参加を希望される方は、12月6日(水)13時までにすだち学級へ、電話もしくはメールにてお申し込みください。(すだち学級 Tel 623-5150 E-mail sudachi@tgn.tcn.ne.jp 担当:日野出)

日時	令和5年12月7日(木)	14:00~15:20
場所	徳島市役所	13階 第一研修室
講師	鳴門教育大学大学院 准教授	坂東 伸泰 先生
テーマ	「不登校を来しうる精神疾患について～これまで外来で出会ったケースを中心に～」	

～いきいき未来サポーターより～

*** 『リフレーミング』について ***

いきいき未来サポーターの、中島 真希(なかしま まき)です。

今月は、『リフレーミング』という考え方を紹介したいと思います。リフレーミングとは、

物事の見方や視点を換えることです。右の場合、上から見たら円に見えますが、横から見たら四角に見えます。例えば、「休みがあと1週間しかない」と考えるより、

「休みがあと1週間もある」と考えたほうが、気持ちが軽くなったりうれしくな

たりしないでしょうか。出来事や事実は変わらなくても、そこに対する見方が違えば、

気持ちが暗くなったり、明るくなったりします。性格についても、たとえば「心配性」は別の見方をすれば「慎重に物事を考えることができる」とも言えます。このように、見方を変えることで、短所(良くないところ)だと思っていたことが長所(良いところ)にもなるのです。

物事の見方や考え方には、人それぞれに癖があります。あなたにはどのような癖がありますか? 前向きに考えるほうですか、だめなところがみえて気持ちが暗くなりやすいほうですか? 癖というのは、自分では気づきにくいものですが、自覚し、調整し、練習していくことで、いろいろな視点を身につけていくことができます。もし、今の見方や考え方では気持ちが暗くなる時は、いつもとは違った見方(リフレーミング)をしてみてください。少し気持ちが軽くなったり、物事の新しい一面が見えたりするかもしれません。

